

No.9

# 今月の人

地域のために活動する人や  
団体を紹介します



NPO法人栃木県防災士会

理事長 稲葉 茂さん(上川)

防災士は、日本防災士機構が認証する資格です。防災に関する一定の知識と技能を有し、地域の防災力を高めるために活動しています。

―活動内容は―  
法人を設立して10年目になりました。県内の会員は約140名です。防災に関する講演や、図上訓練・避難所開設運営訓練などの講師を務めるほか、地域の防災計画の策定にも携わっています。

―近年、大雨による災害が多発しています―  
自然災害(風水害・火山噴火等)に関して、自分の住んでいるところで、どういう災害が起こり得るかを知らることが大切です。まずは町のハザードマップで確認してください。

―課題だと感じること―  
「避難」と聞くと、体育館(避難所)などに避難することをイメージする人が多いことです。例えば深夜の大雨時は、自宅の2階に移動する、近所の高台に逃げるなども「避難」だということ知り、少しでも命を守る行動をとってほしいと思います。

―町民の皆さんへ―  
災害は、「まさか」ではなく、「いつか」起きるものと認識してください。「自分は大丈夫」と思わず、災害に備えてほしい。

―町民の皆さんへ―  
災害は、「まさか」ではなく、「いつか」起きるものと認識してください。「自分は大丈夫」と思わず、災害に備えてほしい。

## 短歌

台風の去りし空には雲多く  
陽は落ち高く虹のかかれる  
蝉時雨いつか遠のき夜の庭に  
秋の虫達あちこちで鳴きぬ

塩島 恵子  
中島 君江

## 遊行柳投句菰

遊行柳今も変らぬ青田風  
燕去る遊行柳を低く飛び

金子 和実  
鯨井 道子

## 俳句

新涼や窓辺ゆるやかそよぐ風  
赤蜻蛉とんがる柵にまた止まる  
新涼の風が通るや足の裏  
ひぐらしの遠くに鳴けば近くにも  
新涼や星ふりそそぐ山の宿  
ひぐらしの遠くに鳴けば近くにも  
新涼の風が通るや足の裏  
赤蜻蛉とんがる柵にまた止まる  
新涼や窓辺ゆるやかそよぐ風  
蓑虫の蓑着てると濡れそぼつ  
駈けて来て蓑虫見たと子の告げる  
蝉時雨一斉に鳴く背戸の庭  
城垣の残る学舎蝉時雨  
秋立つやブルーベリーは五キロ採れ  
土臭き母の野良着や夏の朝  
ひぐらしの初音を耳に夕仕度

大島 昇  
七海 英音  
津田イツ子  
平岡 丈子  
小森 静江  
齋藤 照代  
郷 華  
長島 啓子  
岡部 慶子  
仲川 光風

## ・那須文芸

十五万本のひまわり咲かす那須の農  
放牧の馬の嘶き涼新た  
空蝉の風に抗ふ力失せ  
天の川淡き光の星の帯  
喧騒も静寂もかなた天の川  
新涼や星ふりそそぐ山の宿  
ひぐらしの遠くに鳴けば近くにも  
新涼の風が通るや足の裏  
赤蜻蛉とんがる柵にまた止まる  
新涼や窓辺ゆるやかそよぐ風  
蓑虫の蓑着てると濡れそぼつ  
駈けて来て蓑虫見たと子の告げる  
蝉時雨一斉に鳴く背戸の庭  
城垣の残る学舎蝉時雨  
秋立つやブルーベリーは五キロ採れ  
土臭き母の野良着や夏の朝  
ひぐらしの初音を耳に夕仕度

大島 昇  
七海 英音  
津田イツ子  
平岡 丈子  
小森 静江  
齋藤 照代  
郷 華  
長島 啓子  
岡部 慶子  
仲川 光風

## あなたの「声」を聞かせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・意見をお待ちしています。名前と連絡先とともに、郵便、ファクシミリ、電子メールで下記までお寄せください。

■送付先 総務課広報広聴係  
〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13  
Fax 72-1133 ✉koho@town.nasu.lg.jp

## 那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。  
また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 9月17日(金)  
■俳句の送付先  
〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166  
田中 義郎 ☎72-5044  
■短歌の送付先  
〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13  
総務課広報広聴係 ☎72-6901